

○ 財務部の約束

・ 財務部長の基本姿勢

効率的な行財政運営の推進を基本とした考えのもとに、市有財産の有効利活用や市税等収納率の向上及び予算執行事務のさらなる見直しを進め、確実に持続可能な財政体質を構築していきます。

・ 管財課の約束

継続して市有財産の検証に基づき、積極的に売却や譲渡を進めていきます。
また、保有資産の貸付拡大に取り組むとともに、新たな利活用方策も研究しながら増収を図っていきます。

項目番号	取組項目	平成25年度目標
(2)－④	外部委託の推進（地籍調査業務）	地籍調査事業の委託事務を拡大し、実施体制の見直しを行う。
(4)－①	市有財産の再検証	平成24年度集約した公共施設データを基に、全施設の方向性を明確にする。
(4)－①	市有地売却等の促進（借地の解消を含む）	平成25年度において公売を実施する売却可能土地等の選定とデータ作成を行い、3月までに媒体を通して情報提供し必要な手続きを行う。借地は全て、使用目的・実態等を調査し、方向性を明確にする。
(4)－②	指定管理状況の検証と見直し	指定管理料の適正化のため、統一的な算定基準について管理者と協議を行い、12月までに決定する。

・ 財政課の約束

- 1 平成25年度の各個別目標の履行
- 2 行財政改革の視点に立った各部署への指導及び執行管理の徹底
 - (1) 予算執行及び予算編成に係る各部署への指導の徹底を図ります。
 - (2) 工事等の執行管理の徹底を図ります。

項目番号	取組項目	平成25年度目標
(2)－②	入札制度改善	継続的な入札制度の改善 ・ 等級別格付け発注の見直しを行う。 ・ 一般競争入札における予定価格の事後公表を継続する。
(3)－③	内部管理経費の削減	・ 平成22年度比6%削減（決算額）する。 ・ 平成26年度予算編成に係る基準を設定する。
(5)－①	補助金・交付金・負担金等の見直し	・ 補助金等審査委員会を設置する。 ・ 補助金交付基準（案）を作成する。
(5)－②	受益と負担の適正化	・ 見直しにむけたガイドラインのモデルを作成する。 ・ 所管部署等による見直し作業を推進する。
(5)－③	財政状況の積極的な公表と共有化	・ 補助金交付団体及び交付金額を公表する。 ・ 市民学習用資料を作成する。
(5)－⑤	持続可能な財政基盤の確立	・ 平成24年度決算の現状把握と分析を行い、必要に応じて、今後のプライマリーバランス及び実質公債費の抑制を図るための方策を検討する。 ・ 平成24年度に策定した中長期ガイドラインに沿った平成26年度予算編成を行う。

・課税課の約束

公平・透明・納得の視点に立ち、市民にわかりやすい市税の広報を行います。

項目番号	取組項目	平成25年度目標
(1)－①	伝わる広報の推進	市民税係と資産税係のホームページの掲載方法を見直し、課税課として統一的なホームページにリニューアルする。
(3)－①	職員が自由な発想と意見が出せる組織風土づくり	分類した定型通知文書等を精査して、職員が誰でも使えるようマニュアル化する。
(3)－④	人材育成の充実強化	職員研修の進め方を見直し、専門知識を習得できるよう努め、職員の育成強化を図る。

・収納課の約束

市債権の滞納繰越額を縮減するため債権管理と収納スキルの向上を徹底します。

項目番号	取組項目	平成25年度目標
(5)－②	債権確保対策の推進	全債権滞納繰越額を、平成22年度決算比11%以上削減する。